虹を抱く処女（1948）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　日本
色彩　B&W
時間　87分
初公開日 1948/11/16
公開情報 東宝

【解説】
　八田尚之のオリジナル脚本を佐伯清が監督した。高峰秀子と上原謙が主演を務め、早坂文雄が音楽を担当した。
　看護婦のあき子は、音楽家の日高に惹かれていた。しかし日高は結核を患っており、作曲の悩みや貧しい生活を抱えているため、あき子の想いに応えることができずにいた。ある日、あき子が勤める病院に三津田という男が現れる。彼は戦争中に病で倒れたとき、あき子に助けてもらったことがあった。それ以来、あき子を探していたのだと言う。三津田はあき子に結婚を申し込んできた。あき子はあまりのことに戸惑い悩む。三津田は会社社長の息子で健康な紳士だ。あき子の周囲の人間は三津田との結婚を勧めた。しかしあき子は、日高のことが忘れられずにいた。

【クレジット】
監督　佐伯清
製作　青柳信雄
脚本　八田尚之
撮影　小原譲治
美術　松山崇
音楽　早坂文雄
出演　高峰秀子
　　上原謙
　　若原雅夫
　　田中春男
　　宇野重吉
　　三村秀子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.